

地本業務ニュース

J R 東海 労 ・ 静岡 地方本部

NO. 8 2023年3月4日 発行者：J R 東海 労 静岡 地方本部 半場弘恭

「申」第11号の窓口回答！！

3月3日、静岡支社において「申」11号・石部トンネルにおける樹脂カバー剥離についての、窓口回答がありました。

回答は、以下のとおりです。

1. 事故の概況と時系列を明らかにすること。

回答：5時45分、回送9455Mの運転士より、トンネル山側のカバーの一部が剥がれているが、運転に支障はないと輸送指令に報告があった。5時52分、後続の5085貨物列車運転士が注意運転で確認したところ、山側の支障物に接触し停車したとの報告があった。6時59分、施設係員が漏水防止板であることを確認し、電力係員と協力しての撤去作業、撤去部の補強作業その他の箇所点検「上下線」を行い、9時59分運転を再開した。輸送状況は、運休旅客列車50本・部分運休62本・遅延22本（250分～6分）・特急列車全運休2本・部分運休2本・貨物列車遅延16本（457分～62分）影響人員20,800人。

2. 事故の原因を明らかにすること。

回答：経年により漏水防止板の固定部分の浸食が進行し、繰り返しの列車風圧にあおられてボルト先端が欠落し、漏水防止板が剥がれたため。

3. 周期的な点検が行われているのか明らかにすること。

回答：社内規定に基づき、適切に検査を実施している。

4. 同種事故の再発防止対策を明らかにすること。

回答：石部トンネルの同種の漏水防止板を、計画的に取り換えていく。他のトンネルの漏水防止板は、点検を行った。石部トンネル内の漏水防止板の固定ボルトだけが、腐食しやすい材質だった。

以上